

海洋高校実習船「鹿島丸」進水式の実施について

1 概要

海洋高校において各種実習に活用している現在の実習船「鹿島丸」は、平成5年3月に竣工し、今年で22年目の運航となるが、老朽化が進んでいることから、代船を建造中であり、この度、進水式を執り行う。

※進水式…造船台で組み立てられた新造船舶を初めて水に触れさせる儀式。進水式の後、竣工までに、船として機能するために必要な装置や設備の艤装（ぎそう）を行う。

2 日時・場所

平成27年7月14日（火） 16:00～

株式会社 三保造船所 第3船台 （静岡県静岡市清水区三保 3797）

※会場地図は次ページ

3 出席者

- ・県教育庁 小野寺 教育長ほか財務課長、高校教育課長、海洋高校校長など
- ・その他、三保造船所社長、艤装メーカー社長など

4 今後のスケジュール

平成28年度から実習船として運航。

平成28年5月前後に処女航海を行う。処女航海前に竣工式を行う予定。

5 実習船「鹿島丸」の概要

(1) 実習船の目的

- ・海技士（5級）養成実習
- ・ダイビング資格取得のための海洋実技実習
- ・操船航海実習（日本国内沿岸）
- ・資源調査実習、海洋調査・観測実習
- ・機関実習 など

○平成28年度以降の新船での年間運行日数は、概ね190日を予定。

①海技士養成に係る航海：140日（小笠原諸島など）

・海洋技術科2年：70日

・海洋技術科3年：70日

②潜水航海：海洋産業科2年もしくは3年（沖縄）：10日

③1年生航海体験（海洋技術科，海洋産業科，海洋食品科）：15日

④一般等（小中学生対象）体験乗船：25日

(2) 主要項目 ※【 】内は、現鹿島丸の状況

総トン数 313トン【495トン】

主要寸法 （長さ×幅×深さ）41.17m×8.30m×3.55m【50.50m×9.40m×6.20m】

定員 43名【73名】

会場地図

